

本日は、19時15分まで対応します。

令和8年10月15日

高知県健康政策部 薬務衛生課

担当者：清岡、北山

電話：088-823-9672

食中毒事例の発生について

1 概要

中央東保健所管内在住の1名が、自宅の庭に自生している植物をハスイモ（リュウキュウとも呼ばれる）と思い、自宅で採取、調理し喫食したところ食中毒症状を呈した。

調査の結果、当該植物の喫食直後に口のしびれ、喉の痛みを感じており、クワズイモ特有の症状と一致していること、当該植物はクワズイモであることが判明したこと及び患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、クワズイモを原因とする食中毒と断定した。

2 探知

令和8年10月12日（月）9時30分頃、中央東保健所管内の医療機関から「食中毒を疑う患者を診察した」と通報があり中央東保健所が調査を開始した。

3 発症日及び症状

発症日：令和8年10月11日（日）17時頃 喫食直後

主な症状：口のしびれ、喉の痛み

4 患者の状況

女性1名（70代）

医療機関を受診し入院、現在は退院、回復している。

5 原因施設

患者の自宅

6 原因食品及び病因物質

原因食品：令和8年10月11日（日）に患者が採取・調理したクワズイモ（塩漬け）

病因物質：植物性自然毒（シュウ酸カルシウム）

7 今後の予防策

県民に対して、クワズイモによる食中毒のリスクを啓発

8 クワズイモによる食中毒について

クワズイモをハスイモ（リュウキュウ）と誤って食べて、食中毒になる事例が確認されています。食用と確実に判断できない植物は、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」ようにしましょう。

家庭菜園や畑などで、野菜と観葉植物を一緒に栽培しないようにしましょう。また、料理をする前に、もう一度確認するようにしましょう。

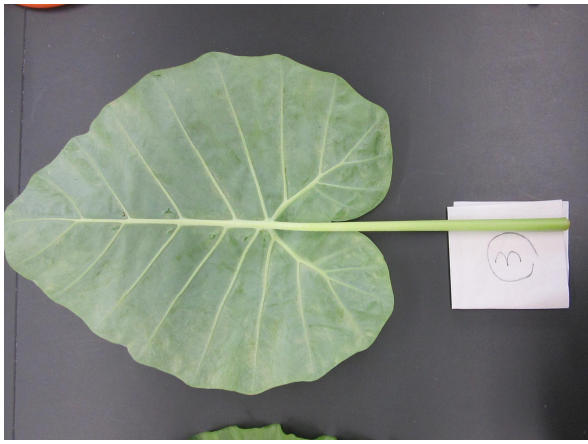
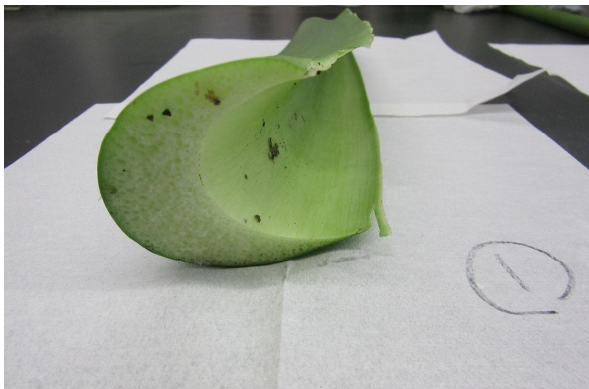
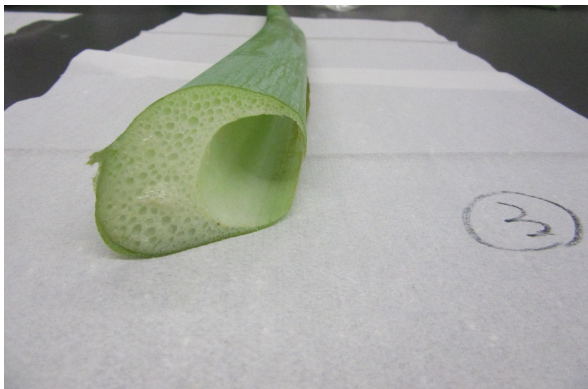
なお、毎年採って食べている植物でも、同じ時期や場所に、類似した植物が生えている場合がありますので注意が必要です。

9 食中毒発生状況（本件を除く。）

年次	高知県（高知市除く）		高知市		合 計	
	件数	患者数	件数	患者数	件数	患者数
令和6年	9	60	8	72	17	132
令和7年	1	57	7	113	8	170
令和8年	3	19	2	13	5	32

（直近の発生状況）平成24年10月、幡多保健所管内の飲食店で提供された味噌汁（食材としてハスイモと間違い、クワズイモが使用されていた）を食べた5名中5名が口腔内痺れ等の食中毒症状を呈した。

○今回患者の庭に生育していたクワズイモ及びハスイモ（リュウキュウ）

	クワズイモ	ハスイモ（リュウキュウ）
葉（表）		
葉（裏）		
葉柄		

○クワズイモとハスイモ（リュウキュウ）の違い

	クワズイモ	ハスイモ（リュウキュウ）
葉	光沢がある（裏側にも光沢がある） 先端が尖っている 葉の基部が深く湾曲する	光沢はない（裏側にも光沢はない） 先端は尖っていない 葉の基部の湾曲はクワズイモと比較して浅い
根茎	棒状で横に伸びる	塊上で大きくはならない
その他の特徴	トウモロコシ様の赤い果実を有する	花は咲くが、実につかない

【参考】

一般名	クワズイモ
分類・形態	クワズイモは、サトイモ科クワズイモ属の植物で、しばしば観賞用として鉢植えで栽培されます。全体の高さが1 m以上になる多年草です。 根茎：棒状で横に伸び、しばしば地表に出ます。 葉：鮮黄色で茎の先端に束生します。葉の形は楕形で、基部は心形で葉縁は波状になっています。 花：黄緑色でやや白色を帯びており、5月～8月にかけて咲きます。 果実：トウモロコシ様の赤い果実がなります。
中毒症状	口に含んだ時点で強い刺激を感じ、悪心、嘔吐、下痢、麻痺、皮膚炎など消化器系及び接触刺激性の食中毒を引き起こします。
間違えやすい植物	食用のハスイモ（リュウキュウとも呼ばれる）、サトイモなどと似ている

○厚生労働省 HP（自然毒のリスクプロファイル：クワズイモ）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000075832.html>